



# 営農サポート通信 第37号

平成27年2月 JA都城：営農サポーター（TAC）



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

2月に入り、まだまだ厳しい寒さが続き、生育の遅れが心配されます。また、雨の日が多く、マルチ張りなどの準備作業に影響が出ているとの話を聞きます。

JAは決算も終わり、今月から新年度に入ります。営農サポーターも定期異動による担当支所変更も考えられますので、来月号で報告させて頂きたいと思います。

## 里芋疫病対策

里芋の植付けが近づいてきました。昨年大発生し被害が拡大した疫病対策について、普及センターが出した資料を基に紹介します。今年は疫病が発生しないよう対策に努めましょう。

### 《病気の特徴》

- 葉、葉柄、イモに発生する。はじめ葉に円形又は楕円形の黄褐色斑点を生じる。次第に多数の病斑が出来て拡大し、褐色の同心輪紋のある大病斑になる。
- 病斑は腐敗し、破れやすく、葉脈が残って葉ぶれ傘のようになる。
- 葉柄も侵され、それより上部が下垂れし黒変する。
- イモにまで腐敗が及ぶことがある。
- 高温性の病気で、夏期温暖で多雨の時に発生しやすい。被害植物は越年し、伝染する。



疫病の症状：葉柄が下に垂れる

### 《種イモ》

- 疫病が多発した圃場で採取したイモを、畑作園芸支場の温室で、発芽試験を実施した結果、正常に発芽し、初期生育において疫病の発生はなかった。
- 試験の結果から疫病発生圃場のイモを種として利用できると判断した。ただし、種子消毒を必ず実施する必要がある。

### 《対策》

#### 【圃場選定】

- 疫病が発生した圃場での連作、隣接する圃場での作付けをしない。
- 排水の良い圃場を選定する。

#### 【種イモ】

- 選別を徹底し、健全なイモを使用する。
- 消毒の徹底。



トップジンM水和剤 (200~500倍)



パダンSG水溶剤 (300倍)



#### 【定期的な防除】

- 梅雨入り前から7~10日おきに定期的な防除を実施する。⇒ジーファイン水和剤(1,000倍)

#### 【排水対策】

- 圃場周囲に排水路を設置する。降雨後は圃場を見回り、水が溜まっていないか確認する。

#### 【防除用通路の設置】

- 地上部の生育が進むと、圃場に入るとの防除ができずムラが出るので、防除用の通路を設置する。

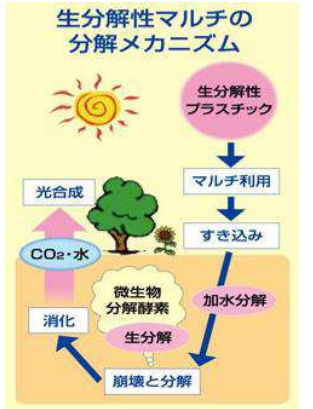
## 生分解マルチ

◆生分解マルチは、土中の微生物により最終的に水と二酸化炭素に分解されるので環境にやさしく、使用後の片づけの手間を軽減します。強度と柔軟性があり、通常の機械展張可能です。

- ・価格は、一般マルチ(0.02×110×400 黒)の2倍を少し超える位です。
- ・受注生産になり、製造ロット数が有りますが、他生産者との抱合せで注文可能ですので、試験的に使用をお考えの場合は、早めにご相談ください。

### 《主な商品》

- ・ピオフィレックス(アキレス) ・野土加(セキスイ) ・キエ丸(ユニック)
- ・カエルーチ(三菱樹脂アグリドリーム)



## 焼酎原料甘藷

丈夫な苗に仕上げるために、苗管理の注意点について再度確認しましょう。

### 【苗の管理】

萌芽までは気温を30℃に保ち、萌芽後は日中27~28℃になるように保つ。かん水は地温を下げないように午前中に行いましょう。採苗後は次の苗に備えて追肥する。伸びが悪い場合は窒素成分を含む液肥の散布をお勧めします。植付け10日前からは、暖かい日中にはできる限り換気して外気にならし、かん水も徐々に減らしましょう。

## 馬鈴薯除草剤

### ●バスタ液剤 (10aあたり 液量 100~200ml 希釈水量 100~150ℓ)

一年生雑草に適用し、雑草生育期(植付前)または萌芽直前(植付後)使用回数1回。  
 ※薬剤が土壌に落下すると効果がないので、薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布してください。また、雑草が大きくなりすぎると効果が低下するので、時期を見失わないようお願いいたします。  
 ※散布後6時間以内の降雨は効果が減じる事があるので、天候を見極めて散布してください。

### ●ナブ乳剤 (10aあたり 液量 150~200ml 希釈水量 100~150ℓ)

一年生イネ科雑草に適用し、収穫前日まで使用回数2回以内。  
 ※茎葉処理型の除草剤なので、イネ科雑草の発生後に散布してください。  
 ※イネ科雑草の1葉期から5葉期の間散布すると優れた防除効果があり、根まで活殺します。

## 営農サポーター活動報告会開催

先月、21日に営農サポーター活動報告会を開催致しました。常勤はじめ、関係部署の部長、課長他、総勢27名に出席してもらい、意見・要望や苦情等を報告させて頂きました。

意見・要望に関しては、すでに改善に取り組んでいるもの、これから検討して行かなくてはならないものなど様々なものがありました。苦情等に関しては、組合員に対して対応の悪さ、説明不足による解釈の違いが関係していると考えられるトラブルなどがありました。

組合員からの意見・要望・苦情等は報告会で伝え、改善に努めていきますので、今後もJAに対して感じた事を営農サポーターに伝えて頂きたいと思います。

(文書取扱：JA都城 営農企画室) 事務所の電話番号は38-6693です

通信内容のご相談は営農サポーターまでご連絡ください